

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	グローバル教育概論				
担当者氏名	山本 元子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門応用-1 国際社会に貢献できる人材育成				

《授業の概要》

社会の急速な国際化に伴い、国際的な諸課題をどのようにとらえればよいか、教育を取り巻く諸相を概観し、事例や文献に当たり、考察を重ね、受講者でディスカッションする中で理解を深める。学習者中心のアクティブラーニング形式を採用して講義を進める。

(必要に応じ、受講者と協議の上、シラバスには若干の変更を加える場合がある。)

《授業の到達目標》

グローバルな諸課題への理解を深め、そのような課題を(本学が教育系大学であることから)、受講者の志望する指導対象者に応じて指導できるようになることを目指す。

《成績評価の方法》

平常点(毎授業時の課題への取り組み+発表等) 50%
提出物(レポート含) 50%

《テキスト》

国際理解・異文化学習：和田勝明
書店で準備できない場合は、担当者が販売する。

《参考図書》

必要に応じて資料を配布する。

《授業時間外学習》

レポート作成に必要な作業全般
(文献検索・PPなどのプレゼンテーション用資料作成等)

《備考(教員経験の有無)》

- ・シラバスは受講者と協議の上変更を加えることがある。
- ・この教科は中学校の教員経験に基づき構成している。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	イントロダクション	授業の進め方、評価について グローバル教育の捉え方 グローバル社会の諸課題について
2	考察1	身近な環境問題にはどのようなものがあるか
3	ディスカッション1	受講者によるディスカッション 課題：身近な環境問題にはどのようなものがあるか
4	発表1	受講者による発表 課題：身近な環境問題
5	考察2	国際理解とはどのようなことか
6	ディスカッション2	受講者によるディスカッション 課題：国際理解とはどのようなことか
7	発表2	受講者による発表 課題：国際理解とは
8	前半のまとめ	第1回から7回までに学んだ内容をレポートにまとめて提出
9	考察3	経済格差とはどのようなことか
10	ディスカッション3	受講者によるディスカッション 課題：経済格差とはどのようなことか
11	発表3	受講者による発表 課題：経済格差
12	考察4	志望進路先(幼保・小学校等)におけるグローバル教育の在り方について
13	ディスカッション4	受講者によるディスカッション 志望進路先(幼保・小学校等)におけるグローバル教育の在り方について
14	発表4	受講者による発表 課題：志望進路先(幼保・小学校等)におけるグローバル教育の在り方について
15	まとめとテスト	まとめとレポートテスト